

令和5年度小論文試験 学校推薦型選抜（A推薦，B推薦），
帰国生特別選抜，社会人特別選抜

（試験時間90分）

問1. 気候変動に関する国際連合枠組条約の京都議定書（1997）では，1990年を基準とした温室効果ガスの削減目標が定められました。図1は1990年および2005年以降の日本の温室効果ガス排出量の推移を表しています。この図をもとに以下の質問に答えなさい。

- （1）日本の温室効果ガスの推移の特徴を200字程度で説明しなさい。
- （2）1990年に対する2019年の排出量の削減率を示しなさい。（四捨五入して小数第1位まで記載しなさい）。

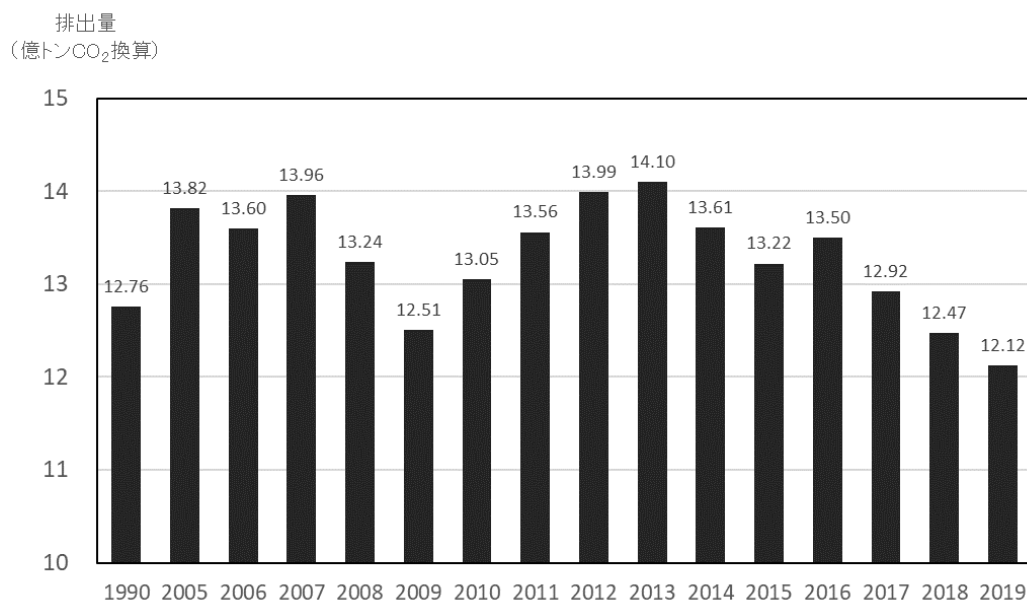


図1. 日本の温室効果ガス排出量の推移

【補足】排出量（億トンCO₂換算）は，温室効果ガスを種類ごとに合算して地球温暖化係数(GWP)をかけることでCO₂単位に換算した値で，活動量×排出係数×GWPから算定されます。

https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/sangyo_gijutsu/chikyu_kankyo/ondanka_wg/pdf/003_03_00.pdfをもとに作製

問2. 表1は世界の主要6ヶ国の2013年から2018年までの温室効果ガスの排出量の推移と各国の人口を表しています。以下の質問に答えなさい。

表1. 主要な6カ国の温室効果ガス排出量の推移(単位:億トン)

国名	年						人口 (億人)
	2013	2014	2015	2016	2017	2018	
日本	14.1	13.6	13.2	13.1	12.9	12.5	1.25
カナダ	7.2	7.2	7.2	7.1	7.1	7.3	0.38
アメリカ	67.7	68.3	66.8	65.2	64.9	66.8	3.37
ドイツ	9.4	9.0	9.1	9.1	8.9	8.6	0.83
イギリス	5.7	5.3	5.1	4.9	4.8	4.7	0.67
中国	91.9	91.2	90.9	90.5	92.5	95.3	14.26

・ https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/sangyo_gijutsu/chikyu_kankyo/ondanka_wg/pdf/003_03_00.pdf をもとに作製

・ 人口は「World Population Prospects, 2022 Revision」のデータを使用

(1) 2018年において、一人当たりの排出量が多い国の名前を順番に記しなさい。

(2) 各国の温室効果ガスの排出量の特徴を200字程度で説明しなさい。

問3. 温室効果ガスの排出量の増加は気候変動へ影響していると言われており、CO₂をはじめとする温室効果ガスの削減が強く求められています。温室効果ガスの気候変動への影響として考えられる現象および温室効果ガス削減の対応方法について、あなたの考えを400字程度で述べなさい。